

## 簡易応接セットの設計研究

研究員 鮫 島 正登美

### 目的

人口の都市集中化にともない、住宅もマンション化して来れば、住宅の絶対空間が狭く限定され人間活動も変化して来る。つまり軽便な生活用具が使用されます洋風化する。しれがつつ従来の用具では不合理な面も出てくる。高層建築、マンション等においての接客用具も従来のドツシリ落ち着いた応接セットではあまりにスペースを取りすぎるのでスチール又はプラスチック等の軽い材料の物を使用する様にすでに成つて来つつある。

今回はその第一段階として簡易応接セットの設計を試みた。我々は木材の持つ独特の木肌の良さ、杣目の美しさ等を高度に生かし機能的にも応接室は勿論、テラスにおいても使用できるものを設計研究する。

### ◎ 簡易応接セットの必要条件

談話応接を主旨とするから着きのある物、多少は長時間の談話にたえる物として下記の条件に勝れていなければならない。

・機能性    ・安定性    ○装飾性

1.安定    2.休息    3.通気    4.弾力    5.耐久    6.清潔    7.異動

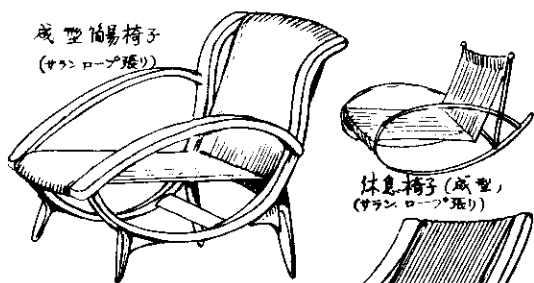
### ◎ 設計のねらい

簡易談話室又はテラスにも使用できる物を念頭におき次のことをねらいとした。

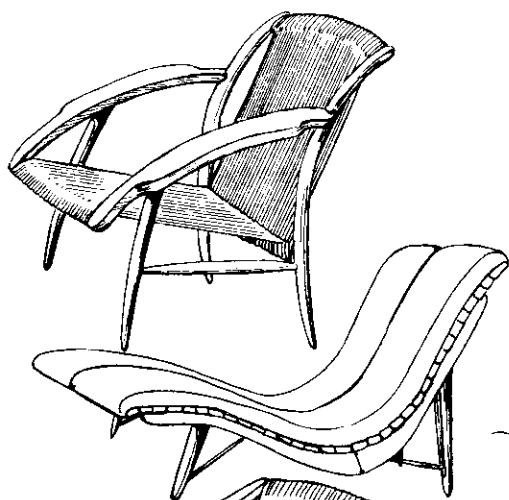
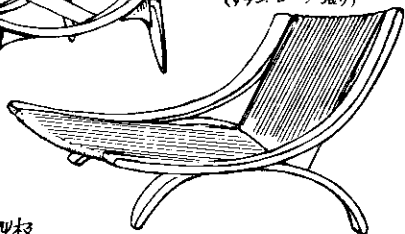
- (1) 室内の調和を損なわない
- (2) 異動のできる軽便なもの
- (3) 多少の風雨に耐え得る物
- (4) 木材の持つ木肌、杣目等を高度に生かす。

上記の目的を生かすために先きに別図スケッチの物を設計しこの中から一点別図製図の物を製作した。

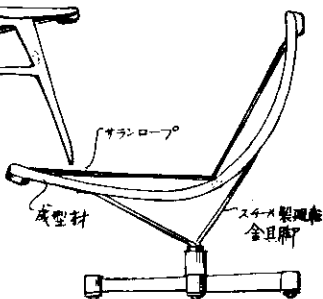
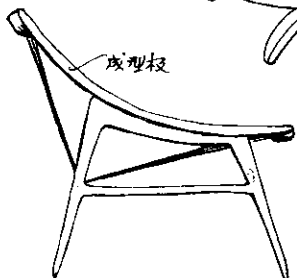
成型簡易椅子  
(サランロープ張り)



休息椅子(成型)  
(サランロープ張り)



成型板



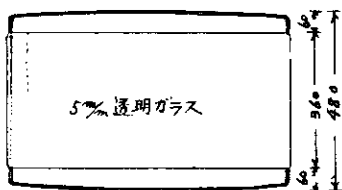
サランロープ

成型材

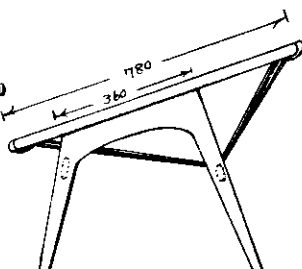
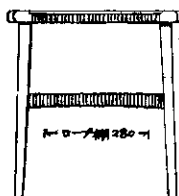
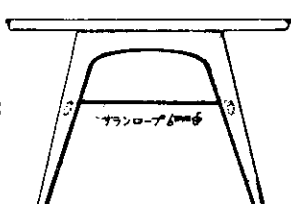
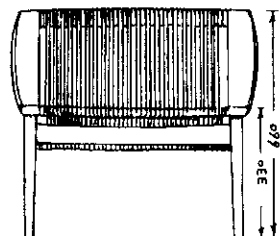
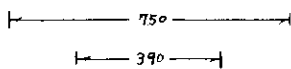
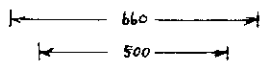
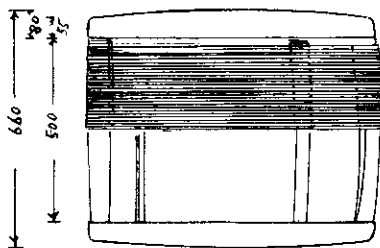
ステン製座車  
全具脚

使用材料

材料みづめ材、口たぶ材、楷材  
裏子天 5mm透明ガラス  
座背 サランロープ 6mmφ



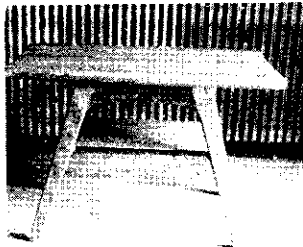
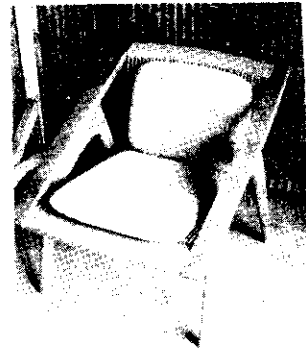
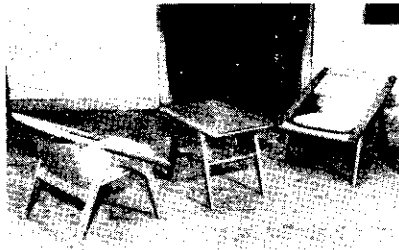
5mm透明ガラス



前記三面図  
又は現寸図に  
よつて製作し  
た。

作品は右の写真の通りであるが工作上において、ポリロープの巻込み方法に一考を要する。現在のままでは、椅子張加工以上の手間を取り量産加工は不可能と思われる。

作品は全試展及び場の作品展に出品したが好評を得た。



## 住空間を効果的に利用出来る用具のデザイン研究 多目的用具（棚）のデザイン研究

研究員 田原健次

### 目 的

合理的・有効的な住空間利用には極めて水準の高い、機能的用具が必要とされるが、この用具の中でも最も使用度数の高い棚を選定課題とし、このデザイン研究（含、試作開発）を行うものである。

### 主 旨

この研究は41年度以降4年に亘つて、開発を進めているものであるが、今年はこの研究計画後半期のものであり、その中間発表を行うものである。即ち、日毎の急激な生活テンポの変化は、住システムに対する考え方も必然的に変化させるに至っていることは衆知の如く、今日では農村部に於ても和的洋式化は一段落し、都市部に於ては室別機能性の様式が重視されてくると共に、そこに利用される新たな用具の必要性が高められているが、これに叶うものは殆んど見当らず、その開発に至つては一部の層に過ぎず、大半の消費者は満足しないままに市販既製用具により住空間を有効的にと考えるものの意のままにならない状況に、毎日の生活の一部を犠牲にしているのが現状であると思われる。この不自然な状況からの脱皮は極めて重要でありこれらの意味からすると当県に於ては、特に市販業界の見識不足はこれからの将来に対して無責任であると言わざるを得ない。

そこでこのような状況に鑑みて実験を続行していることはそれなりの大きな意義があるように思われる。この実験は、又多分に重なる失敗を繰返すであろうが、その方向性に健全さがある以上、近い将来よりベターなものが開発され、求められる今後の用具として業界はもとより、消費者に対しても一つ